



# あひるぐみだより

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

平成30年 3月号 発行

寒さの中にも少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。子どもたちは園庭遊びが大好きです。園庭を走ったり、壁までみんなで移動したり、くねくね線の上を歩いたり、地面に描いたまるをケンパで進むうとする姿があります。鉄棒にぶら下がったり、登り棒にのぼろうとしたりいろいろな遊びにチャレンジをしています。



## ★食事★

月齢に合わせて、スプーンやフォークを使い、食器に手を添えて食べられるようになりました。食事中の食器を自分のおなかの前に置くことでこぼす量も減り、上手に食べる姿が見られます。魚や肉をおかわりをする子どもが増えてきました。給食時に、「キャベツは、きゃっきゃっきゃ〜きゅうりは、きゅっきゅっきゅ〜」と野菜の手遊びをすることで、さらに楽しい食事時間になっています。



## ★制作★

手袋の制作はシールを貼り、クレヨンで描きました。

お雛様の制作は指に絵の具をつけ、スタンプのようにし、お花紙を丸めて体の部分にしました。いろいろな素材を使い、指先を上手に使って素敵な作品ができあがりました。

自分で作った作品を探し、保護者の方に褒めてもらってうれしそうです。

## ★人形劇★



保護者会主催の劇団が保育園に来ました。

室内が暗くなると、驚いて保育士の膝に座る子や目に涙を潤ませている子もいましたが、手遊びや歌を一緒にうたい、少しずつ興味が出てきたようでした。ふしぎな聞き耳頭巾のお話にてきたはなちゃんやきつねやえびす様を覚えていた子もいました。おばあさんたちの面白い動きに笑いもあり、最後まで劇を観ることができ、成長を感じました。

## ★お店屋さんごっこ★

幼児組さんのお店屋さんごっこでは、買い物袋を大切そうに持って買い物を楽しみました。温泉ではからだを洗ったり、湯船に入ってはしゃいだり…ゲームコーナーのワニ叩きや景品を選んで嬉しそうでした。

幼児組さんのお兄さんお姉さんたちが、優しくお世話してくれました。これからも幼児組さんとの関わりをたくさん持ちたいと思います。



## ★生活★

給食後に洋服が汚れると、汚れを気にして自分で着替えようとする子がいます。その様子をみていた低月齢児も同じようにしようとする姿があります。午睡時はタオルケットや毛布を整えたり、起床時にはたたもうとしたりして、自分のことを「じぶんで」と頑張る姿を見守っています。

\*懇談会では、ご家庭での様子をお話いただき、ありがとうございました。

\*この一年間、いろいろとご協力いただきましてありがとうございました。

